

昼食にキッズランチをはじめました!!



キッズうどん



キッズぞうすい



キッズカレー

- ❖ 朝忙しくて時間がない、症状によってはどんなお弁当を作ればよいか悩むお母さんのためにキッズランチを始めました。メニューは上記の3種類です。
- ❖ もちろん、お弁当持参も歓迎です。電子レンジ、冷蔵庫は完備しています。
- ❖ 食物アレルギーで食物除去中のお子様は、お弁当をご持参下さい。

うどんとぞうすいは、昆布とかつお節からとったダシを使用しています。



- ・各メニュー300円（税込）です。
- ・ご希望の方は入室予約の際にご注文下さい。ご注文は、当日の**9時**までをお願いします。

とびひ（伝染性膿痂疹）とは？

虫刺されのあとや傷口に細菌が感染して発症します。かきむしった手を介して、あっという間に全身に広がるので注意が必要です。

主な症状

- ・皮膚に水ぶくれができる。
- ・皮膚が赤くじくする。
- ・強いかゆみがある。



「とびひ」の増える季節です

とびひにかかったら？

皮膚の水疱やただれが急速に広がってきた時は、早めに小児科や皮膚科を受診して下さい。抗生剤の内服が必要になります。家庭看護の注意点は、シャワーで皮膚を清潔に保つ、クーラーを入れて汗をかかないようにする、タオルの共有はやめるなどです。

※ 出席停止の病気ではありませんが、通園の際には患部をガーゼや包帯でおおう必要があります。

病児保育室での感染症対策 ⑨ 集団保育での感染症対策(続)

前回は感染源と感染経路を遮断する方法として標準予防策があることをお話ししました。感染症を防ぐためにはそのほかに感受性対策も重要です。感受性対策とは感受性がある（免疫を持っていない状態）人に対して、あらかじめ予防接種をして免疫を与えることです。具体的な対策としては①入所前に受けられる定期の予防接種はできるだけ済ませておく、②入所する子どもの予防接種状況を把握して接種可能なワクチンを保護者に周知する、③職員のこれまでの予防接種歴、罹患歴を把握して必要に応じて予防接種を受けさせるなどがあげられます。

6月のご利用状況

6月の利用人数58人、キャンセル数15人、1日平均利用人数は2.9人でした。年齢別では1歳児20人(34%)、2歳児16人(28%)、4歳児9人(15%)の順でした。疾患別では高熱がでる夏風邪と思われる上気道炎が最も多く、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎などがありました。